

ぶんぶん

文化資源活用協会新聞



「なかや」農家民宿 開業10年め

「農家民宿 古民家なかや」は簡易宿泊所の営業許可を平成27(2015)年5月17日に取得しました。来年5月で開業10周年を迎えます。建物は、「空き家対策/地域おこし/移住・二地域居住の推進のための体験/人の交流の場」を目的に、地域の方、補助金、いくつかの大学の先生と学生の協力で平成16(2004)年から21(2009)年にかけて、再生されました。その後管理人として宿を運営してきた大塚謙一（現在はNPO文化資源活用協会 理事長）に、今の「なかや」の様子について報告してもらいます。

お客さんとの交流

親子連れ、夫婦二人、3世代の家族、外国人旅行者、いろいろな人が泊まりに来てくれます。あまり宣伝をせず宿泊予約サイトにも載せないのので、ご新規さんは何かで検索して、直接メールや電話をくださる勇氣ある方ばかりです。みんな「ここはほんとうに静かですね…」「夏、エアコンをつけなくて寝たのは久しぶり」など、喜んでくださいます。農業用水が流れる時期は、せせらぎの音のようで、さわやかに目が覚めるようです。気持ちのいい季節には、庭で朝ご飯をとることもあります。

農業体験（田んぼ）

田植え、稲刈りなどの田んぼ体験イベントを毎年やっています。今年(2024/令和6)年から、耕作する田んぼが3枚、合計約4反に増えました。これまでは8畝の水田1枚だけを耕作していて、お客さんと手植え、手刈りの体験をしていましたが、今年からは田植えも草取りも機械で行い、挿植(手直し)を体験してもらっています。バインダー(手押し機械)の稲刈りとハザかけ、天日干しは続けています。津金も高齢化がさらにすすみ、コンバインの稲刈りがますます増えてハザかけの風景も見られなくなってきました。なかや田んぼは、できるだけ続けていきたいと思っています。育苗から収穫まで無農薬、無化学肥料でがんばっています。



なかやのお米は宿泊客の朝食に出したり、年末に餅つきをしたりします。またイベントの日は外で薪でご飯を炊いたりするので、皆さんに喜んで食べていただいています。2月に10人ぐらい集まって味噌も作りますが、なかやでは麴もつくるので、それにもお米を使います。

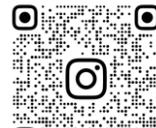
さまざまな活動

宿泊以外にも多くの方が施設を利用しています。7年ぐらい前から、映画の上映会を行っています。「民族映像文化研究所(民映研)」の約120本の記録映像映画を全部見るのを目標に、年5回のペースで行っています。ふたつの8畳間をつなげてスクリーンを下げて、レンタルしたDVDをプロジェクタで上映しますが、冬はストーブと火鉢、ひざ掛けをかけて、古民家で見る映画は味わい深いものです。



ほかには月1回、竹細工の会がこの庭で活動をします。遠くからみえる先生と、何年も活動するサークルの皆さんが、竹の選び方と切り出しヒゴづくり、作品づくりを繰り返し練習しています。

11月には干し柿をたくさん吊るしますが、この風景も気に入っています。年末には工作教室(ミニ門松づくり)、正月には近所の方と「七草がゆの会」も楽しい恒例行事です。民宿の回転率はたいして高くないのですが、夏は水田周りやあちこちの管理地の草刈りに走り回っており、忙しくしています。

民映研
「越後奥三面」
公式サイトMANGETSU_NO_KAI
満月の会
Instagram

(裏に続く)

しつらい

(つづき) 玄関の土間にある薪ストーブは、暖房のためというのは半分、もう半分はくん煙、防虫のために焚いています。この家は茅葺き屋根にトタンをのせていますが、夏は風を通し、時々煙を出すことが維持の役に立っています。

管理運営を引き継いだ後のこの10年で、土壁を塗り重ねてスキマをふさいだり、軒を延ばして(下屋)収納スペースもできました。縁側のガラス戸や雨戸を直したり、網戸を作ったり、大屋根のペンキの塗り直しもしました。東側の土手はもとは桑畑で、大木に成長し落ち葉(雨どいに詰まる)や日当たりなど困っていたので、切り倒し薪にしました。和田地区方面の見通しが良くなりました。これらにかかる費用は補助金を申請したこともあります。基本的には民宿の売上から支出しています。古民家再生にかかわって下さったみなさんが、「なかや」をまた訪れて下さるのを楽しみにお待ちしております。(大塚綾子)



工房ジオ・パラダイスの「暖助」というストーブ

最近の活動



ここ1年の展示について

津金学校1階で開催される展示会、回を重ねる事にいろんな発見がある。

4月に開催された「津金陶芸部の作品展」作り手の個性が光った。プロが行う展示会とは異なり形や厚みもいろいろ、選ぶお客様も好き好きで、楽しい気分させられた。

続いて6/23～「北村宏が歩いた八ヶ岳」全て北村さんが歩いて調査した八ヶ岳の世界観が見渡せる。それらがまた、冊子にまとめられ、ここまでやるか！と！北村さんの探求心に脱帽。本も手作りでこれ又素晴らしい！現在と逆行する表現だけど温かさを感じるものだった。

9月には「津金文化芸術交流 AUTUMN2024」このタイトル硬く感じますね！この度2回目を迎えた、地元の方々の俳句や詩、書道をはじめジャンルに関係なく集められた文化的作品、まあ、みなさんこんなに隠れた才能をお持ちなんだとつくづく感心させられました。

是非、来秋も隠れた才能発掘に力をお貸し下さい。これらの展示品から集約してジャンル別の展示会もありですね。(岡本)

今後の予定

田中翠 創作人形展 2024.10.19～11.15

ヒトカタ座 江戸系あやつり人形芝居 2024.11.16、17

創作人形作家田中翠さんの“個展”と、人形遣い絲也未央さんによる“古典”人形芝居が津金学校で行われます。

田中翠さんは伝統的江戸あやつり人形を55年間創作。また古い説話の中から抜け出してきたような動物とも人ともつかないような、更に植物や地名のイメージまで膨らませて誕生した不思議で柔らかな人形を創作して展示、活動中です。

そして絲也未央さんが操る伝統的江戸あやつり人形芝居は17本程の糸を巧みに操り、細やかな息遣いも人情の機微も表現します。

そんなお二人の競演「コテン」を秋深まる津金学校1階展示室でお楽しみください。(伊東)



編集後記

猛暑の夏！津金も7～8月は日中は30～35度、熱帯夜もかなり続きました。数年前の猛暑の時にエアコンを入れた家も多く、お年寄りも家で安全に過ごしていたようですが、それでも9月まで「えらい」毎日だったと思います。津金学校は来館見学もすっかりコロナ前の数に戻り、催しものや周辺の活動に忙しくしています。(大塚綾子)

